

人権教育だより『ひだまり』

第6号

島根県立江津高校 人権教育担当
島根県立江津工業高校 人権教育担当
令和5年2月28日(火)発行



祝 成人

18歳を迎えた3年生、ご成人おめでとうございます。まだこれから誕生日を迎える人もいますが、もうじき3年生全員が法的に「成人」ということになります。いざ大人になってみるとどんな気持ちですか? 「なんとなく背筋が伸びるなあ」、「うーん…実感がわかないなあ」、「自分の思い描いている大人とはまだちょっとちがうなあ」、などなどの思いがあると思います。主権者教育、消費者教育などでも、成人になると自らの行動に責任が伴うこともその都度学んできました。ただ、人権はこどももおとなも関係なく、生まれてからずっと守られる権利です。みなさんがひとりの人間として幸せにこれから生きていけるといいな、と心から願っています。それとともに、ひとりの人間としてまわりの人びとを幸せにするおとなになってくれるものと期待しています。

1948年に国連で定められた「世界人権宣言」は全30条からなるものです。自分を守ること、権利を主張することはとても大切なことですが、まわりのひととの関わる時に次の条文についてもちょっと考えてみてください。

第29条 権利と身勝手は違う

わたしたちはみな、すべての人の自由と権利を守り、住み良い世の中を作る為の義務を負っています。自分の自由と権利は、ほかの人々の自由と権利を守る時にのみ、制限されます。

第30条 権利を奪う「権利」はない

この宣言でうたわれている自由と権利を、ほかの人の自由と権利をこわすために使ってはなりません。どんな国にも、集団にも、人にも、そのような権利はないのです。

引用：谷川俊太郎 訳 『世界人権宣言』

別れの春、そして出会いの春

いよいよ、3年生の高校生活も幕を閉じようとしています。進路はそれぞれ違うといえど、高校から巣立ち、それぞれの地で新生活を始めることとなります。そして、1年生、2年生も、4月には新入生を迎え入れ、新たな出会い、新たな生活が始まります。さまざまな地域から集まり、それぞれめざすものもさまざまです。共通項を見出して気の合う仲間もいれば、お互いの違いを楽しめる仲間もいると思います。ときに考え方や価値観の異なった人との出会いもありますが、縁あって同じところで同じ時間を過ごす仲間ですので、居心地のいいつながりだと思えます。

応援とは、決して一方通行じゃない。強い者が弱い者にすることでもない。人は互いに応援しあって生きている。だからこそ私は、いつも誰かを応援しながら生きていたいと思うのです。

引用：松岡修造「明日への思い 我が応援人生」『月刊PHP 2012年7月号』

今年度、新たな試みとして江津高校と江津工業高校で人権教育だよりを発行してきました。ふだん学校で学んでいる内容や学び方も大きく異なりますが、互いに応援し合いながら、また、刺激を受けながら、江津・浜田地域、そして島根をさらに元気にしていきましょう。

3 学期人権教育ホームルームを実施しました

1 年生 『エゴグラムを通じて、よりよいコミュニケーションを考えよう』

エゴグラムという、50項目の質問の回答から、5つの因子がどの程度の強さなのか、を診断し、自分の長所や短所について考えました。5つの因子とは、厳しい親 (CP)、優しい親 (NP)、成人 (A)、活発な子供 (FC)、従順な子供 (AC) です。単純に数値が高ければよいというものではなく、それぞれにプラスの面、マイナスの面があるので、診断結果から自分のことを客観的にみることができます。

～感想～

○私は、どちらかといえば活発ではないタイプで、部活動でも自分の意見を発さずについて、いつも怒られるような感じです。ですが、この授業を通して思い切り行動をして外よりもなかから自分を変えていきたいです。

○質問の内容はあまりよくわからなかったけど実際にやってみると自分の普段思っていることに当てはまったりして、すげーって思いました。

○これからのことについて考えるきっかけになった。もっといろんなことに挑戦してみたい。

2 年生 『性の多様性について知ろう、考えよう』

昨今、政治家の発言をめぐるニュースなどでも取り上げられることがある、性の多様性について、まずは正しく知り、そして DVD 視聴を通して考えました。

～感想～

○自分だけの価値観で物事を考えずに、他人の価値観にも目を向けることが重要だと感じた。人の数だけ、趣味、思考、価値観があるので、それと自分が思う価値観のズレは当然起こり得ることなので、多様性への理解を高めたいと思います。

○今回は性の多様性についてでしたが、これだけじゃなくて、困っている人がたくさんいると思うので、少しでも生活しやすい状況にしたいです。

○これが普通、あれは変、という考えをやめ、多様な考え方をし、誰もがそれを理解するべきだと思いました。

学年ごと、学期ごとに、さまざまなテーマで人権について考えました。現在、さまざまな人権課題があり、すべてをホームルームで扱うことは難しい面もありますが、ホームルームでの学びをもとに、人権意識を高める機会を設けています。扱った人権課題にとどまらず、さまざまな場面で、どのようにしていけばみんなが過ごしやすいようになるのか、今後も考え続けていきたいと思います。

